

SOFTOPIA JAPAN
ソフトピアジャパン



発表会 2021
Presentation



大垣市スーパーシティ 未来構想提言

地域未来構想研究会2021報告書

2021年11月19日 ソフトピアジャパン情場クラブ

ソフトピアのある街を日本有数のスマートシティにしよう

地域未来構想研究発足

背景

令和2年9月開催のSJ情場クラブ幹部会議にて、第四次産業革命を先行的に体現する最先端都市となる「スーパーシティ」の構想をもとに、ソフトピア地域での取り組みについて、検討し、ソフトピアジャパン立地企業を中心に「地域未来構想研究会」を発足。半年にわたって、調査研究を実施した。

目的

スーパーシティ構想を見据えた将来の大垣市の未来構想について、研究及び構想の策定を行う。

概要・研究会メンバー

観光、移動、物流、支払い、行政、医療・介護、教育、エネルギー・水、環境・ゴミ、防犯、防災・安全など、様々な取り組み分野について、ソフトピアジャパンに在住するICT企業～構成されるSJ情場クラブが主体となり研究会を構成。

目標

地域未来構想を策定し、大垣市など行政に提言を行い、施策につなげると同時に、ソフトピア地域ICT企業による新規事業創出に向けた事業イノベーションに寄与。

多様化に対応可能な西濃／大垣市域

- 新しいまちづくりゾーン
- 高齢者にとって住みやすいゾーン
- イノベーション・ゾーン(プロトタイピング／デザイン)
- ものづくり振興ゾーン
- 若者成長ゾーン

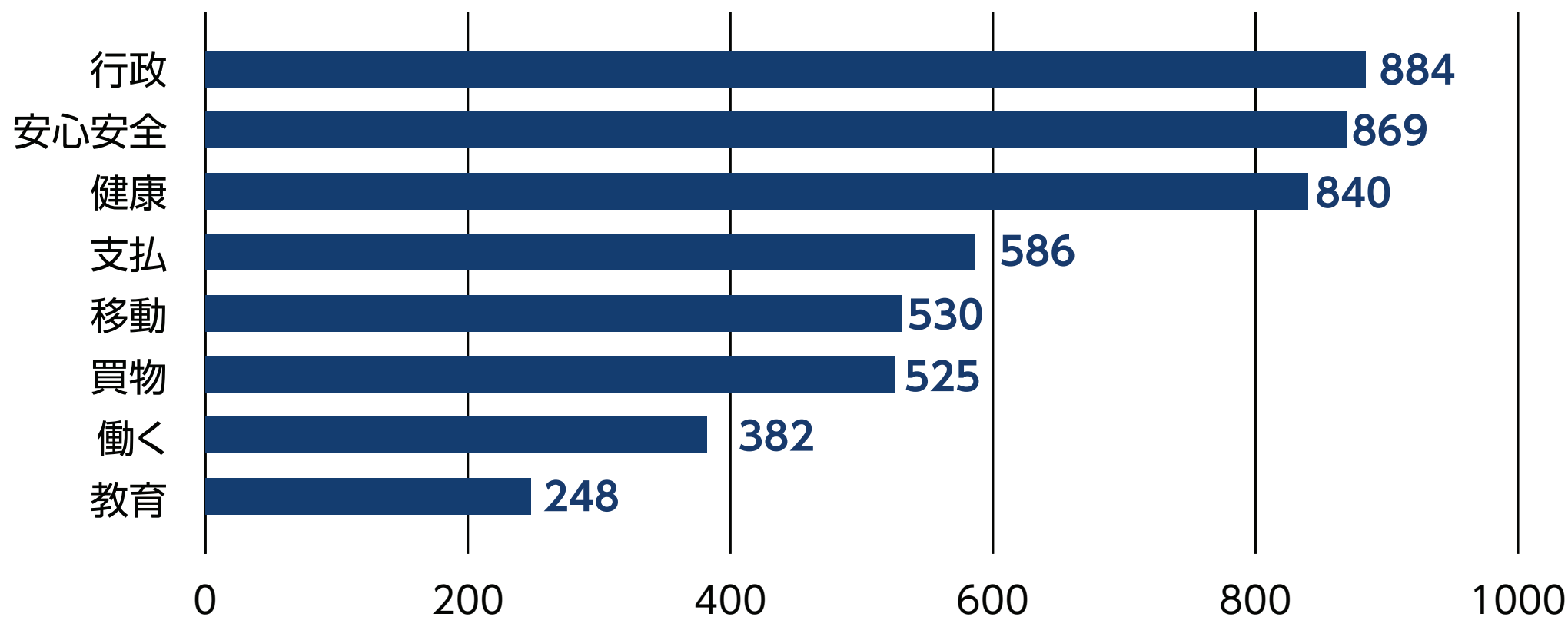
大垣版地域未来 構想イメージ



対象企業オープンアンケート調査(ニーズ把握)

最先端技術を活用したサービスに関するアンケート調査からのニーズ把握

地域サービスのニーズ調査 ※アンケート回収数、複数回答あり、1人5回答まで



本資料は、サンメッセ総合研究所 (Sinc) がご提供させていただくサービスをお客様にご説明差し上げる目的で作成された内容であり、当該目的以外での使用は固くお断りいたします。

また、本資料の一部または全部を無断で複製複写、転用ならぬようお願い申し上げます。

なお、掲載情報は信頼しうると考えられる情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

各セクター別にてカテゴリライズした分科会の設置

分科会	カテゴリ	担当企業	解決策
第一分科会	行政・教育・子育て等	株式会社インフォファーム	小中学生の安心・安全から手がけたい
		グレートインフォメーションネットワーク株式会社	子育て世代ターゲットにICT活用の安心・安全
第二分科会	医療・介護・健康等	タック株式会社	高齢者見守りサービス
		株式会社デリカサイト	【依頼】行政連携による高齢者向け配達サービス
第三分科会	移動・配送等	株式会社セイノー情報サービス	防犯カメラの基礎データ蓄積による利活用
		ピーアイシステム株式会社	移動配送におけるすべての人が安全に利用できるサービス提供
第四分科会	金融・決済等	共立コンピューターサービス株式会社	生体認証・マイナンバーカードの利活用
		株式会社電算システム	地域のお店やサービスの決済仕組みの提供(地域通貨)
その他	全体分析・事務局	サンメッセ株式会社	—
		株式会社OKB総研	—
		グレートインフォメーションネットワーク株式会社	—
その他	環境(気候変動)	サンメッセ総合研究所	カーボンニュートラル 官民による気候変動対策

各セクター別にてカテゴライズし社会的課題の見出しと解決策の検討

前提検討(下記に関して、サンメッセ総研が中心になり整理し、皆さまの参考となるよう準備いたします。)

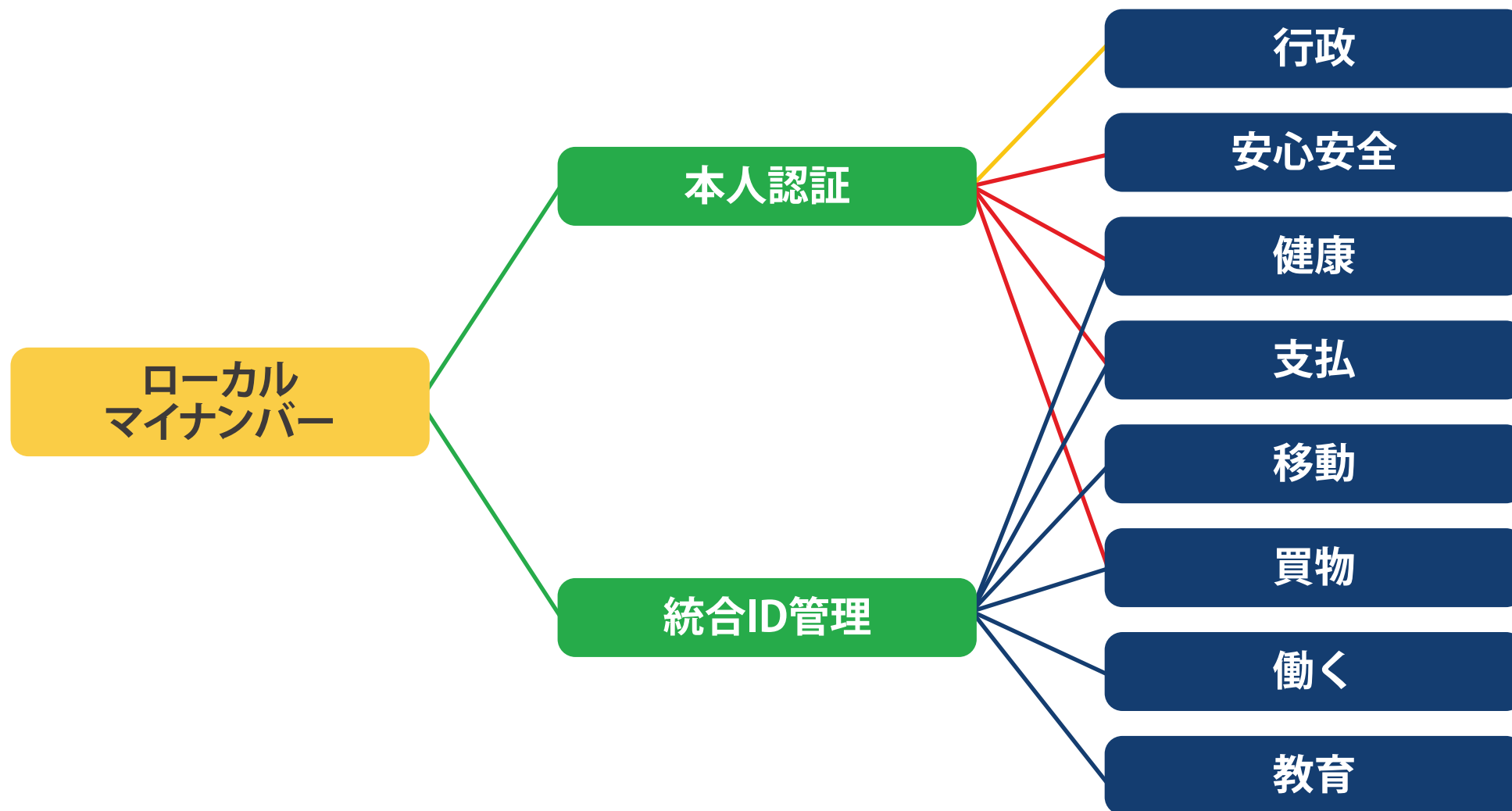
- ①10年後、20年後にむけたアクションのイメージ ⇒ 現在走っている施策 OGAKI MIRAI VISION の整理と整合性(行政施策との融合化)
- ②Society 5.0について ⇒ ○○により、経済発展や社会的課題解決について整理(これらを両立する人間中心の社会)
- ③本研究会のミッション・ビジョンを今一度、確立させる
- ④DXについて考える ⇒ なんのためにツールを活用するかを抑えながら行政ならびに民間PJのデジタル化
- ⑤現状とありたい姿について協議 ⇒ 参考にすべき成功事例の共有 ⇒ 実証検証 ⇒ 設計・仕様企画 ⇒ 行政の施策と連携 ⇒ 情報発信 ⇒ 地方連携モデルへ!

※抜粋

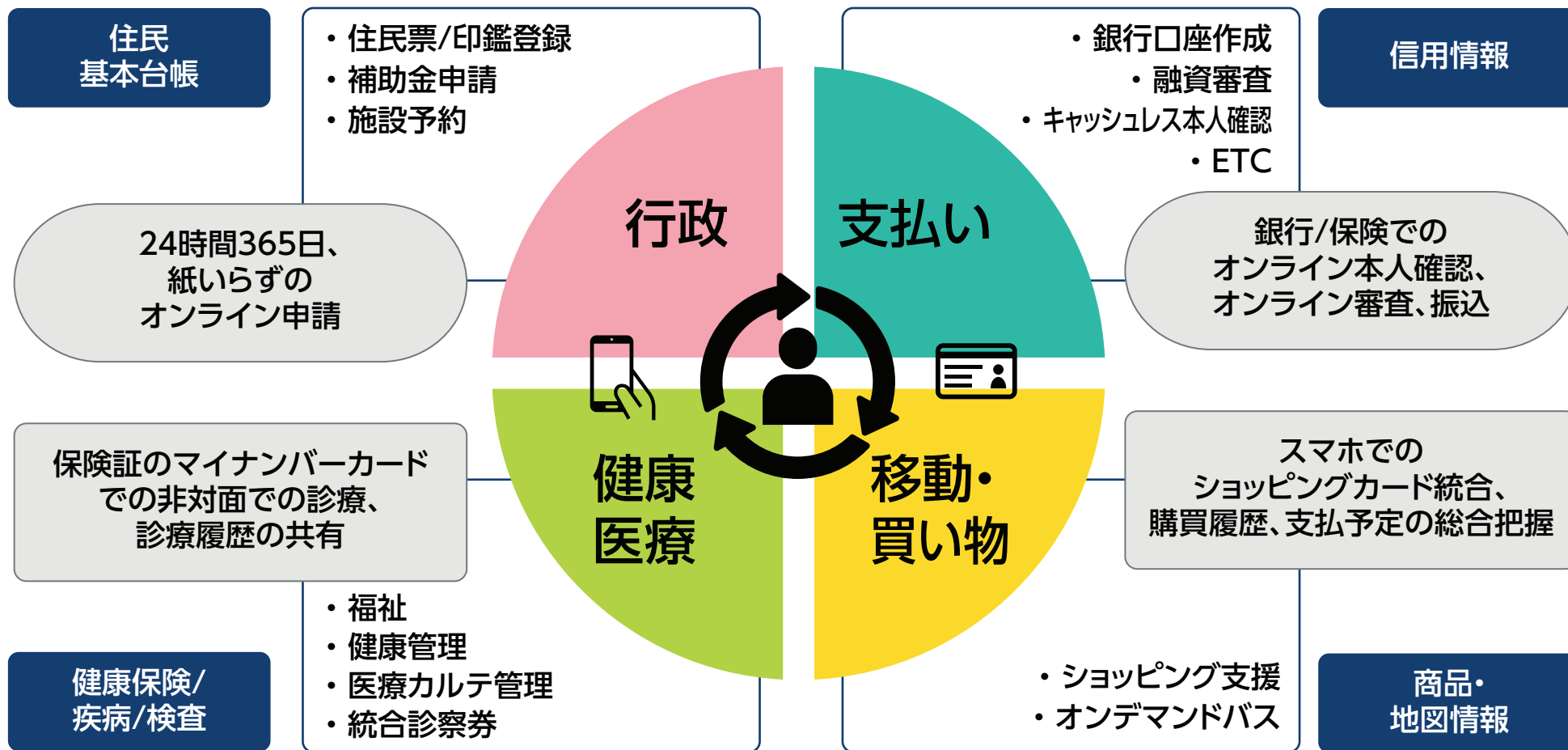
分科会	テーマ	担当企業	行政の動き(大垣市)	社会的課題
			事務局(サンメッセ総研)にてご準備いたしますので、入力は不要です。	今回徴収したアンケート結果をベースに、担当企業において社会的課題を〇〇と認識した。という視点にて複数挙げてください。
第一分科会	行政・教育・子育て等	(株)インフォファーム	みんなが成長するまち(人づくり) (1)子育て支援 ・保育人材の確保及び育成 ・子育て世帯への経済的支援 ・親子の交流の場の充実 (2)青少年健全育成 ・少年リーダーの育成 ・家庭教育の推進 (3)学校教育 ・英語教育の充実 ・少人数指導の推進 ・ふるさと大垣科の充実 ・外国人の子どもへの支援 (4)生涯学習 ・地域の課題解決に向けた学習機会の充実 ・歴史文化資料の保存と活用 (5)生涯スポーツ ・コミュニティスポーツの充実	【課題の再確認】 ・PR、プロモーション不足(自治体?) (すでに実施あるいは計画中事業の確認) ・市民の理解不足はないか? ・関係団体のルール・承諾が必要な事はないか? ・自治体だけでは無理なことはどのように扱うか? 【課題を大別】 ・利便性(対自治体、自治会内、学校) ・安全、安心 ・教育充実 ・サービス提供 ・タイムリーな情報発信
		グレートインフォメーションネットワーク(株)	みんなが元気なまち(産業振興) (3)農業 ・特色のある農産物の生産振興 みんなが...	・学校連絡のIT化、ペーパーレス化 ・防犯、見守り ・オンライン学習、機器貸出 ・地域情報の共有(イベント情報、地域内の部活等の練習試合マッチング、防災無線が聞き取れない) ・保育施設 ・オンライン相談窓口 ・高齢化社会への対応 ・ICTを活用した利便性の向上

※内容詳細は別紙

横断的居民サービスを実現



マイナンバーカードは民間利用可能な効果的電子式本人認証ツール



スマホ+マイナンバー活用の地域サービス創出

地方の実務を効率化!簡易な本人認証のしくみ:ローカルマイナンバー

ローカルマイナンバーは、QRコードの形をした、スマホで持ち運べる本人認証を行う個人IDです。極めて簡単に取得でき、保持するのは[氏名・住所・連絡先]などの最低限の情報だけ。本人が認証できることで効率化できる業務は多く、同時に行政サービスの質向上も実現できます。

対個人の業務が多い地方では、スマートな本人認証で解決できる課題がたくさん!

生活者が日常的に利用し、使うメリットを実感するにはキャッシュレスが必須

おとく

キャッシュレス

- ・地域振興券の電子化
- ・地産地消ポイント付与
- ・健康ポイント等の各種啓発事業ポイント
- ・ランクアップ優待制度で市民優待/地域消費の促進
- ・地域ポイントでのみ購入できる特別サービスの提供
- …等



行政サービス利便性向上

べんり

- ・申請の簡便化
- ・市バス・モビリティ分野での利用
- ・至る処での氏名・住所・連絡先記載省略
- ・通知機能による「紙の」通知削減 ※誕生日等の必要情報開示や紙通知不要の承認者にポイント付与→紙送付の段階的廃止
- ・広報誌から回覧板に至るまで“自分に必要な情報”を集約
- …等

地域消費を促すポイントと、行政の施策がスマートにリンク

いざという緊急時にも役立つ!

個人を特定する認証の仕組みがあれば、コロナ禍のような緊急時にも、必要に応じた様々なシステムの構築・展開をスムーズに行えます。また、履歴が残り、追跡調査やワクチン接種率等の状況をリアルタイムで収集できるため、**全体の見える化や意義あるオープンデータの提供が可能**です。

例:コロナのような感染症対策・居住エリアごとのきめ細やかな災害情報等の配信・避難所での確認…等

地方が行う実務での活用例① 地域限定マネーの電子化(例:地域振興券)

紙で行われている地域振興券を電子チケットとして発行し、

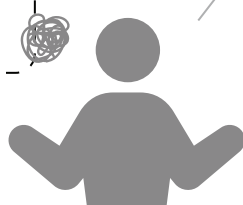
①事業者の清算事務自動化 ②接触機会の削減 ③印刷や保管・配布等のコスト削減を実現!

従来の金券方式

◆金券のデメリット

- ・集計に手間がかかる
- ・接触機会が多くなる
- ・保管に場所を取る
- ・作成や印刷のコスト
- ・紛失・盗難リスク 等

なんで
いまだき
手集計!?



ローカルマイナンバー利用

◆市民のメリット

- ・受け取りに行く必要なし
- ・接触機会の削減
- ・紙を持ち運ぶ手間不要
- ・店舗検索やMAP機能連携の利便性向上 等



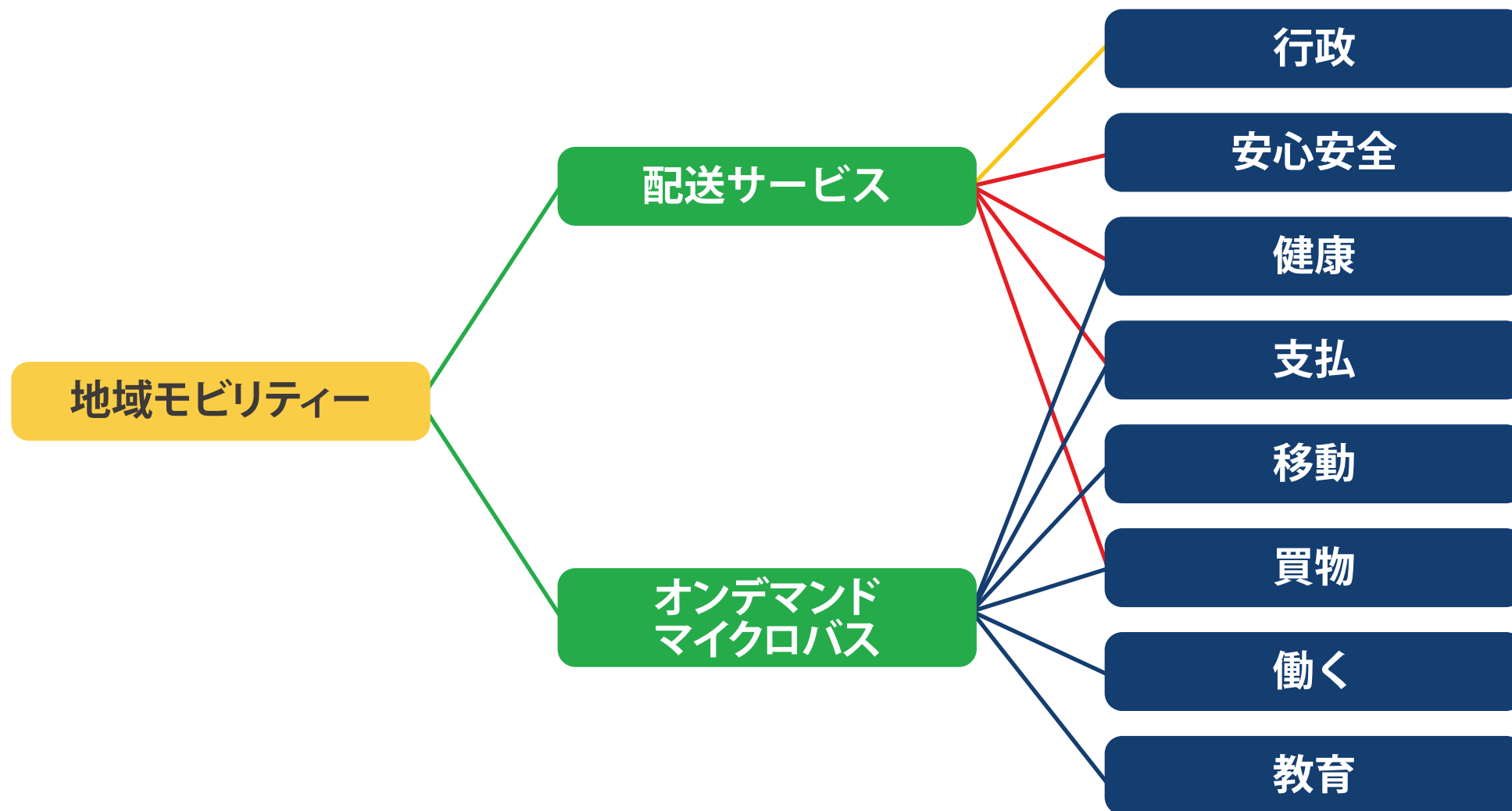
◆事業者のメリット

- ・集計作業事務削減
- ・清算場所へ出向くことなく入金
- ・清算事務軽減による早い入金サイクル
- ・利用状況のリアルタイム把握
- ・紛失、盗難リスク減
- ・チケット作成・印刷発注・保管管理・配布にかかるコスト削減 等

Point!

- ・配布や清算にかかる膨大な手間など、デジタルなら一瞬で済む、不毛な作業を減
- ・金券作成、保管、盗難、紛失…。様々なコストやリスクをなくす
- ・日常、スマホを持つだいたいの人がMAPアプリで目的地に。利便性が格段に向上
- ・行政実施の啓発事業などでの配布ポイントも一元化し、地域活性化(市内困い込み)
- ・日常的に利用されるアプリにするには、キャッシュレス機能は必須!

地域高齢社会における住民移動手段の確保



自動運転のサービス創出

運転好きなドライバーは
完全自動運転を好まない

バスの無料化ではなく、
行きたいときに行きたい
場所に行きたい



運転手なしでも
移動できる

運転免許なしでも
運転できる



バスガイドが
操作する観光バス



安全監視サービス

(運転をモニターし事故責任を持つ)



ヘルパーが
要介護者の
移動を支援



オンデマンド
巡回・買い物バス

MaaSは、交通機関のDXとされている

■ 国土交通省HP内「日本版MaaSの推進」

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/japanmaas/promotion/index.html>



■ 上記サイトより:MaaSとは

「地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、**観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるものです**」



■ MaaSの構築自体は手段

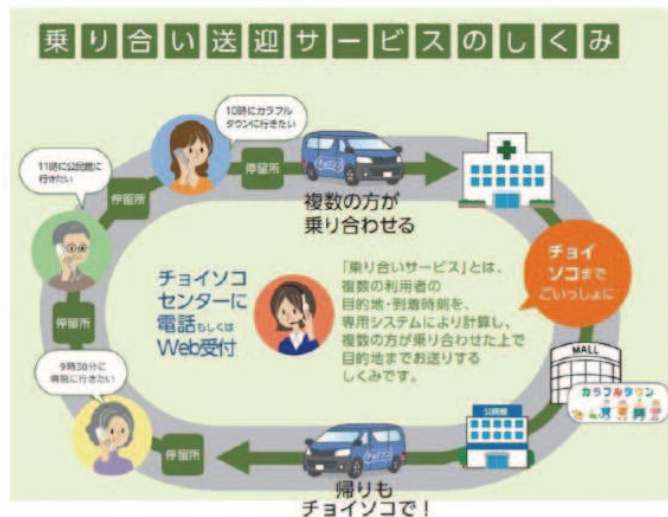
■ その先に、交通サービス分野の需要側・供給側の双方に変革をもたらす可能性

+

人々のライフスタイルや、それに対応したまちづくりやインフラ整備など都市や地域のあり方にもインパクトをもたらすイノベーション

→MaaSは「交通」や「移動」からアプローチするDX

オンデマンド交通



出所:チョイソコカラタン(<http://choisokocalatan.com/>)
(株)トヨタオートモールクリエイト プレスリリース

■ 乗り合い送迎サービス

「チョイソコカラタン」(岐阜市)

- ・2021年4月～
- ・「チョイソコ」はアイシン精機(株)が提供する高齢者の健康維持・増進を目指した移動支援サービス
- ・複数の利用者の目的地・到着時刻を専用システムにより計算。
アイシングループのカーナビ技術を応用し、最適な乗り合わせルートを算出
- ・目的地停留所は商業施設(カラフルタウン)のほか、病院・クリニック、ドラッグストア、コンビニなど。乗降停留所もきめ細かい

県内でもはじまった自動運転の公道実証実験

■ 国交省等の事業に加えて、自治体主導で公共交通の維持を目指す動き

郡上市

- ・道の駅を発着点とした自動運転サービス実験
※高齢者の移動支援
+貸客混載(2019年)



出所:中部地方整備局報道発表資料

関市

- ・自動運転車による小瀬鵜飼観光客の最寄り駅までの送迎実験(2020年)

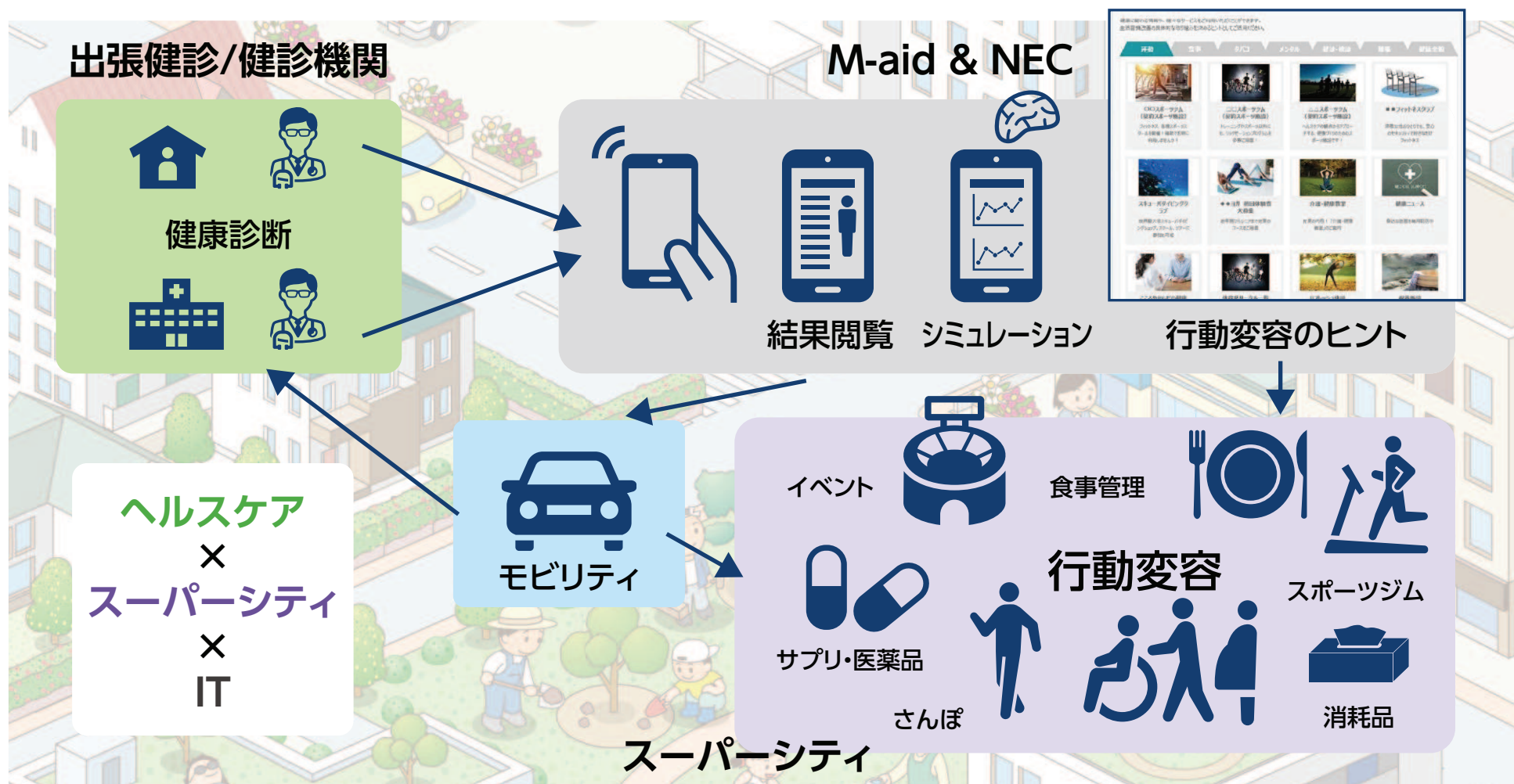


出所:岐阜市資料

岐阜市

- ・小型自動運転バスによる中心市街地走行実験(2020年)

医療を中心としたスーパーシティ



マイナンバーとモビリティを基盤にして実現可能

地域社会の課題をソフトピアの企業が解決する=地産地消のDX

～日本有数のスマートシティになろう～

“三方よし”の地域連携社会の実現へ

新しい時代に必要不可欠なデジタル技術やデータの活用において、参加者全員自分ごととして深く関与しながら、地域のあり方について自分たちで決める新しい変革モデル

